

平成27年度土浦市在宅医療・介護連携拠点事業 第3回研修会・意見交換会 グループワークまとめ

今回のテーマに関連して、日頃困難に感じていること

- ・施設で、食事のレベルの希望に沿うのが難しい
- ・とろみの作り方が統一されていない(人によって差がある)
- ・その人に合わせたとろみをつけるのが難しい。(濃い、薄い等)
- ・姿勢の矯正が難しいケースもある。
- ・在宅での歯科の介入は難しい。
- ・どう現場に広げていくか
- ・脳血管疾患の患者への言語聴覚士の支援介入について
- ・不顕性誤嚥が多い。もう少しアセスメントできないのか。

今回のテーマに関連して、課題と思っていること、改善したいこと

- ・口の中を見せていただける関係を築くこと
- ・地区・地域ごとに相談できる歯科医師がいてくださるといい。
- ・口腔ケア、嚥下訓練を積極的に行っている施設、病院、歯科医院などの紹介をどこでしていただけるのか？
- ・歯科受診までを誰に相談してつなぐか。
- ・ケアマネとして利用者の嚥下のことを知らないことが多い
- ・評価方法について知られていない。広く知らせるようにする。

今回のテーマに関連して、多職種連携において必要だと思うこと

- ・リストアップは必要
- ・窓口の明確化
- ・施設や家族や専門職が学べる場があればよい。
- ・患者の情報共有と嚥下障害に対する共通認識
- ・連携は文章化＋映像化が必要。
- ・可能な限り、利用者を中心にして”顔の見える連携”をとれるとよい。
- ・日常生活の状況を観察し「いつもと違う」ことの気づきをもつこと。そして専門職につなげることが大切。
- ・医科歯科連携

とろみ調整食品を試食した感想

- ・とろみ剤が値段が高く、買えない場合も。
- ・患者に提供する前に職員も食べてみた方がよい。
- ・嚥下障害のある方の気持ちになって考えることが必要であることがわかった。
- ・思いのほか抵抗がない。しかし、これを水分としてとっていると…。
- ・牛乳は意外とおいしい。
- ・味噌汁、食べられるがずっとは厳しい。
- ・本日のとろみ剤使用でとろみ剤追加≠安定が違うというのは初めて知った。